

令和元年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部
畜産試験場

I 気象概況

9月下旬：平均気温は12.8℃で平年並みであった。降水量は66.5mm（平年比233%）、日照時間は65.1時間（平年比141%）で、ともにかなり多かった。

10月上旬：平均気温は11.4℃で平年よりやや高かった。降水量は63.5mm（平年比116%）、日照時間は46.3時間（平年比104%）で、ともに平年並みであった。

10月中旬：平均気温は6.9℃で平年よりやや低かった。降水量は40.5mm（平年比116%）、日照時間は47.8時間（平年比95%）で、ともに平年並みであった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年並み、降水量と日照時間はやや多かった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	12.8	12.1	0.7	11.4	10.2	1.2	6.9	7.8	△0.9
最高気温（℃）	18.8	16.7	2.1	16.0	15.1	0.9	11.5	12.6	△1.1
最低気温（℃）	6.8	7.4	△0.6	6.9	5.5	1.4	0.8	2.9	△2.1
降水量（mm）	66.5	28.5	38.0	63.5	54.6	8.9	40.5	34.9	5.6
降水日数（日）	2.0	4.1	△2.1	4.0	5.1	△1.1	5.0	4.4	0.6
日照時間（時間）	65.1	46.3	18.8	46.3	44.6	1.7	47.8	50.4	△2.6

注1) 各数値は旬の平均または合計。△は減を示す。

注2) 平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : 不 良

1～3 番草通算作況 : 不 良

事 由 :

<3 番草>

3 番草の刈取りは平年より 1～2 日早い 10 月 10 日に行った。乾物収量の平年比は 2 年目草地在 68%、3 年目草地在 72%と、いずれも平年を下回った。

以上のことから、3 番草の作況は「不良」である。

<1～3 番草合計>

1～3 番草合計の乾物収量は、2 年目草地在 826.8kg/10a (平年比 80%)、3 年目草地在 806.9kg/10a (平年比 84%)、両草地の平均は 816.9kg/10a (平年比 82%) であった。

以上のことから、1～3 番草合計の作況は「不良」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月・日)	10.10	10.12	△2	10.10	10.11	△1
生育日数 (日)	71	68	3	71	69	2
収穫時草丈 (cm)	41	50	△9	33	47	△14
生草収量 (kg/10a)	370	594	△224	283	408	△125
乾物率 (%)	26.9	24.9	2.0	28.1	26.9	1.2
乾物収量 (kg/10a)	98.9	145.0	46.1	79.4	110.0	△30.6
同上平年比 (%)	68	100	△32	72	100	△28
1～3番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	826.8	1027.7	△200.9	806.9	955.0	△148.1
同上平年比 (%)	80	100	△20	84	100	△16

注 1) 平年値は2年目草地在前7カ年のうち最豊年(平成27年)及び最凶年(平成29年)を除く5カ年の平均値、3年目草地在前6カ年のうち最凶年(平成29年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

2. サイレージ用とうもろこし

作 況 : 不 良

事 由 : 播種は平年より3日早い5月15日、発芽期は平年より7日早い5月22日であった。発芽後から6月初旬にかけての少雨乾燥と、6~7月の長期低温寡照の影響で、草勢弱く、葉色も薄く、生育はばらつきがあり遅延気味であった。雄穂開花期は8月3日、絹糸抽出期は8月2日で、いずれも平年より2日遅く、稈長は218cmで平年値の標準偏差を超えて下回った。収穫期は平年より1日遅い9月19日、収穫時の熟度は黄熟初期であった。茎葉、雌穂、総体の生草収量は対平年値比90、88、90%と低収であった。乾雌穂重割合、総体乾物率も平年より低い傾向で、最終的に、雌穂および総体の乾物収量、並びに推定TDN収量は、対平年値比でそれぞれ85、88、87%となり、特に雌穂は標準偏差の2倍を超える低収であった。

以上のことから、本年の作況は「不良」である。

調査項目	本年	平年	比較	平年比	
播種期(月.日)	5.15	5.18	△3	—	
発芽期(月.日)	5.22	5.29	△7	—	
草丈(cm)	6月20日	35	33	2	—
	7月20日	142	157	△15	—
稈長(cm)	8月20日	218	264	△46	—
	6月20日	7.1	6.0	1.1	—
葉数(枚)	7月20日	13.8	14.0	△0.2	—
	8月20日	16.4	16.0	0.4	—
雄穂開花期(月.日)	8.3	8.1	2	—	
絹糸抽出期(月.日)	8.2	7.31	2	—	
収穫期(月.日)	9.19	9.18	1	—	
収穫時熟度	黄初	黄初	—	—	
総体生草収量(kg/10a)	4,803	5,362	△559	90%	
総体乾物収量(kg/10a)	1,337	1,523	△186	88%	
雌穂乾物収量(kg/10a)	726	856	△130	85%	
乾雌穂重割合(%)	54.2	56.0	△1.8	—	
総体乾物率(%)	27.8	29.0	△1.2	—	
推定TDN収量(kg/10a)	973	1,116	△143	87%	

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(平成26年)と最凶年(平成28年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「チベリウス」。